

仙臺雀踊

せんだい
すずめおどり
いちばんぐみ

壹番組

結成：昭和62年
受賞歴：梵天丸賞(S63)、特別賞(H2)、
審査員特別賞(H3)、準優勝・お囃子大
賞準優勝(H5)、準優勝・お囃子大賞準
優勝(H8)、梵天丸賞・宮城野区長賞
(H10)、小十郎賞(H17)、祭連対抗個人
大賞桃雀(H19)、櫂賞(H20)、祭連対抗
個人大賞竹雀(H21)、六右衛門賞(H22)、
誉賞(H26.28.30)

仙台・青葉まつりの復活(1985年)にて、国分町の飲食店のママを中心に伝統芸能である「すずめ踊り」に賛同し、お客さん達(地元出身者や転勤族)との思い出づくりのため、活動を開始したことが当祭連のルーツです。「正調すずめ踊り」を基本と考え、その伝承者の石工・黒田虎雄さんから直接指導を受けて伝統を学び、さらに、すずめ踊りの普及のためにボランティア活動にも参加しました。そして、仙台すずめ踊りの個人団体として参加するに当たり、当時の佐々木副実行委員長から「一番初めに結成された仙台すずめ踊りの個人団体、だから『壹番組』。」と名付けていただきました。とても光栄に感じ、祭りを心から楽しむ祭連として活動しています。



法被は白地に黒の籠目柄で、古くから多くの職人の法被に使われている柄であり、伝統を重んじて採用しました。また、背中にはメンバー親族考案のオリジナル字体『壹』の白文字(一部、雀が扇子を広げた姿も)、これを丸い赤地に描き、『正調すずめ踊り』日の丸扇子の「日の丸」を連想させるデザインです。



扇子の表は、黄色をベースとして中央には法被の背中と同じく『壹』の文字、日の丸扇子の「日の丸」を意識して「朝日」を連想させるデザインです。扇子の裏は、緑色ベースの色使いで、緑色は青葉まつりの「新緑」をイメージしています。

今年、仙臺雀踊壹番組は結成35年です。結成当初から現在まで、先人から受け継がれた伝統、多くの先輩が築いてきた壹番組の演舞やマインドを大事にするとともに、常に新しいことにもチャレンジしながら、精力的に、そして楽しく活動しています。また、結成当時の先輩達が黒田虎雄さんから学んだことを踏まえ、『仙台すずめ踊りとは』という点を今も祭連内で意識するとともに、他地域の祭りや郷土芸能・伝統芸能にも積極的に参加し、祭りの心意気を学び、吸収し続けています。仙臺雀踊壹番組は『圧倒的な楽しさと観る人を引き寄せる祭連』として、今後も仙台すずめ踊りを心から楽しみ、大いに盛り上がっていきます。

